

「専門医のための流涙症マスタークラス：診断から治療まで」

主催：公益社団法人日本眼科医会

前書き

オーガナイザー：白石 敦（愛媛大）／宮崎 大（鳥取大）

視力低下に次いで多い眼科外来受診理由の一つが「流涙」です。流涙には刺激などで分泌量が多くなる分泌性流涙と、涙の流れが悪くなる導流性流涙があります。流涙の原因は多岐にわたり、眼表面から眼瞼、涙道、鼻腔に至る涙路のどこにでも潜んでいます。時には複合要因が原因となることもあり、一つの原因を治療しても改善せず、悩む症例を経験することもあります。流涙症状を改善して患者さんの満足を得るには、眼表面から鼻腔にかけての涙路にある流涙の原因となる要因を的確に突き止めることが必要です。そして、患者さんにその原因について説明し、順番にまたは同時に治療を進めていくことが重要です。

今回の生涯教育講座では、各分野のオピニオンリーダーが流涙の原因、診断法、治療法について徹底的に解説します。流涙症の複合要因を理解し、適切な治療法を選択するための知識を身に付け、日常診療の一助としていただけましたら幸いです。

プログラム

※東京講座は一部他の講座と講演の順番が変わります。

●第1日目

15：30～15：45	はじめに	白石 敦（愛媛大）／宮崎 大（鳥取大）
15：45～16：35	流涙症総論	鎌尾 知行（愛媛大）
16：35～17：25	眼瞼疾患	渡辺 彰英（京都府医大）
※東京講座	眼感染症	子島 良平（宮田眼科病院）
17：25～17：35	休憩	
17：35～18：25	アレルギー疾患	庄司 純（庄司眼科／日本大）
※東京講座	乾き目なのに涙目!? 診断から治療まで	有田 玲子（伊藤医院）
18：25～18：55	質疑応答	

●第2日目

9：00～ 9：05	はじめに	白石 敦（愛媛大）／宮崎 大（鳥取大）
9：05～ 9：55	涙道疾患	井上 康（井上眼科）
※東京講座	アレルギー疾患	庄司 純（庄司眼科／日本大）
9：55～10：45	眼感染症と流涙	子島 良平（宮田眼科病院）
※東京講座	眼瞼疾患	渡辺 彰英（京都府医大）
10：45～10：55	休憩	
10：55～11：45	乾き目なのに涙目!? 診断から治療まで	有田 玲子（伊藤医院）
※東京講座	涙道疾患	井上 康（井上眼科）
11：45～12：15	質疑応答	
12：15～13：10	まとめ	

この講座は日本眼科学会専門医制度の生涯教育事業として認定されています。

（新専門医制度に基づき単位が取得できます）

東京講座	御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター	2025年 2 月15日（土）・16日（日）
福岡講座	アクロス福岡	2025年 3 月15日（土）・16日（日）
名古屋講座	ウインクあいち	2025年 3 月22日（土）・23日（日）

●東京講座のみ現地開催および Web ライブ配信によるハイブリッド開催

流涙症総論

鎌尾 知行（愛媛大）

流涙症は、涙腺からの分泌の相対的な増加、または涙道からの排出の相対的な減少により眼表面の涙流量が増加した状態であり、分泌亢進による分泌性流涙と、導涙低下による導涙性流涙に分けられる。その発症原因を突き止めるには、涙腺、眼表面、眼瞼、涙道、鼻腔と涙液動態に関与するすべての部位について丁寧に診察し、それぞれの要因に対して適切に治療を行う必要がある。本講演では、流涙症を包括的に捉えるべく、様々な要因を解説する。

眼瞼疾患

渡辺 彰英（京都府医大）

流涙を引き起こす眼瞼疾患は、外反症、内反症、兔眼症などの眼瞼形態異常と、顔面神経麻痺や機能性流涙など導涙機能異常に大別される。流涙の原因となる眼瞼疾患の有無と程度について正確に診断し、適切な手術治療をすることで改善する流涙症は多い。機能性流涙は治療が難しいが、下眼瞼弛緩や眼瞼下垂があれば、手術治療によって改善する可能性がある。流涙の原因となっている可能性の高い病態から順に治療を行っていくことが重要である。

アレルギー疾患

庄司 純（庄司眼科／日本大）

アレルギー性結膜疾患は、即時型アレルギー反応を主要病態とする眼表面の炎症性疾患である。代表的な自覚症状は、眼掻痒感であるが、病状によっては流涙症の原因疾患の1つとなる。本症で流涙を訴える場合には、急性アレルギー炎症、角膜上皮障害、鼻結膜炎、涙道閉塞などを考える必要がある。今回講演では、日常診療でみられるアレルギー性結膜疾患患者の流涙症について病態、診断および治療にフォーカスして解説する。

涙道疾患

井上 康（井上眼科）

流涙症の主な原因である涙道疾患に対する的確な診断と治療が必要であることに疑問の余地はない。しかし涙道疾患においては、直接病変を観察できないことが長らく正しい診断、確実な治療を行うための障害となっていた。今回の講演では、正しく診断するための一般検査上の注意点、各種内視鏡により得られるようになった所見、代表的な治療法などについて、聴講される先生方の今後の診療に役立つ講演にしたいと考えている。

眼感染症と流涙

子島 良平（宮田眼科病院）

眼感染症では炎症を伴うため不快感に加え分泌性の流涙を来すことが多い。感染性角結膜炎であれば疼痛や流涙が自覚症状となり、眼瞼炎では起床時の流涙を訴えることを経験する。また近年では涙道疾患から角膜穿孔を来す lacrimal drainage pathway disease-associated keratopathy (LDAK) という概念も注目されている。本講演では眼感染症と流涙について症例を提示し、その診断および治療について考えてみたい。

乾き目なのに涙目!? 診断から治療まで

有田 玲子（伊藤医院）

ドライアイは通常、「目が乾く」という症状が多いと思われがちだが、ドライアイの主因であるマイボーム腺機能不全（MGD）では「涙目」を訴えることも多い。マイボーム腺から分泌する涙液油層の量の減少を補う生体反応として、涙液水層が増加すると考えられている。本講座では、「流涙症」患者のなかで「ドライアイ」を鑑別するコツとその治療法について症例を提示しながらわかりやすく解説する予定である。

■受講申込要領

1. 申込方法

ホームページ（<https://www.joaweb.com/> または右記二次元コードからもアクセスできます）より、申込締切日までに必要事項を入力の上お申し込みください。

お申し込み後すぐに申込完了のメールが届きます。受講申込後翌日になってもメールが届かない場合は、各開催事務局へご連絡ください。

2. 受講料

A 会員：¥20,000 B 会員：¥15,000 C 会員：¥1,000
非会員：¥50,000

3. 申込締切日

各講座の申込締切日は下記のとおりです。

なお、席に余裕がある場合は、当日も受付いたします。

- 東京講座 2025年2月6日（木）
- 福岡講座 2025年2月28日（金）
- 名古屋講座 2025年3月7日（金）

4. 取り消し

申込締切日以降の受講取り消しについては、受講料は返金いたしません。

5. テキスト

事前に送付する予定です。

6. 託児のご案内（福岡講座、名古屋講座のみ）

託児手配をご希望の方は、受講申し込みフォームの託児希望の欄にチェックを入れてください。後日、開催事務局もしくは旅行代理店よりご案内いたします。詳細については各開催事務局にお問い合わせください。

●東京講座

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-4-7
日本眼科医会生涯教育講座事務局
TEL：03-5287-3801 FAX：03-5287-3802
Mail：syogai@staffroom.jp

●福岡講座

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-4-8-3F
福岡県眼科医会
TEL：092-434-4800 FAX：092-434-4801
Mail：office@fukuoka-gankaikai.org

●名古屋講座

〒460-0008 名古屋市中区栄 3-7-12
サカエ東栄ビル 7 階
愛知県眼科医会
TEL：052-262-0054 FAX：052-251-9213
Mail：zimu@a-gankai.com

お申し込みはこちらから

